

安心・安全な白神ねぎに感謝

販売課

名古屋中央卸売市場へ多年にわたり、高品質な白神ねぎを出荷し続け名古屋市民の食生活の安定と向上に貢献したとして、11月6日に河村たかし名古屋市長より感謝状が送られました。

組合長室にて行われた感謝状贈呈式には、名古屋市長より書状を預かり来組した、丸協青果株式会社の早瀬正代表取締役社長が、組合長に感謝の意を伝え手渡しました。

当組合では、関東近郊を中心に中京圏へも年間およそ417トン、販売額にして1.4億円相当の白神ねぎを出荷しており、佐藤組合長は今後も安心安全な白神ねぎを提供することを固く約束しました。



丸協青果(株)早瀬代表取締役社長より感謝状が授与される。



参加者から「相続と贈与の違いは何か」等といった質問が出される。

相続対策セミナーを開催

金融共済部

金融共済部では11月13日に、貯金並びに共済事業をご利用頂いている方々を対象にした、相続セミナーを開催し、会場には、相続やそれにかかる税務対策について関心をもつ参加者など48名から参加を頂きました。

鈴木典男税理士が講師を務め、エンディングノートをを用いて講義を行い、鈴木税理士は「元気なうちに家族と話し合い、自らの財産の把握を怠らないことが基本。」とアドバイスしました。

相続セミナーは今回で3回目。本支店の窓口にて随時相談に応じる体制を整えつつも、今後もこのような機会を設けて、利用者が安心して頂ける場を提供して参ります。

全県スマイルサポーターロールプレイングコンテスト 共済課、藤里支店

共済窓口の顔であるスマイルサポーターが県内JAから選抜された10名が出場し、審査員ら大観衆の前で壇上にあがり、12分の制限時間内で共済知識や話法、対応技術を含めた提案実技を競い合いました。

当組合からは、藤里支店の須原陽子係長が出場し、「自動車共済の継続手続き」を課題に行われました。競技を終えた須原係長は「今回の経験も活かし、親しみやすく頼られる窓口担当を目指しこれからも頑張ります。」と話してくれました。惜しくも表彰を逃す次点という結果ではありましたが、競技中は普段の須原係長らしいスマイルで的確に対応していました。



審査員が演じるお客様からの質問に的確に切り返す。



特殊な用語を使わず、わかりやすく説明しました。

中学生にJAあきた白神を紹介

人事・審査課

能代市内6校の2年生を対象とした「中学生ふるさと企業説明会」が11月19日に能代市文化会館で開催されました。地元就職促進のため早い段階で地元企業を知ってもらうことを目的に県山本地域振興局が主催したこの説明会には、能代山本地区の21企業団体が各ブースに分かれて、事業内容をPRしました。

当組合もこれに参加し、人事・審査課の長内課長がブースを訪れた37名の中学生に丁寧に説明しました。説明会を終えた長内課長は「JAとして様々な事業がある中、いずれも地域に貢献できる仕事であることをPR出来た。」と話してくれました。